

# 令和2年度事業報告書

## 1 基本方針

### (1) 自然環境の保全及び活用

名古屋市民御岳休暇村（以下「休暇村」という。）は、御嶽山の麓、自然環境に恵まれ、市民生活を支える水源の木曾川上流域に立地しています。この市民の貴重な財産である広大な自然を保護し、活用を図りながら地元と協働して事業を進めました。

### (2) 自然体験や環境学習主体の事業運営

豊かな自然を活用した体験事業や環境学習プログラムを通じて、市民の健康増進と青少年の健全育成に寄与しました。

### (3) 利用促進と効率的な経営

自然体験企画等の充実と効果的な広報の実施により利用促進に努めるとともに、業務委託の導入を始め経費の削減を図り、効率的な経営に努めました。

## 2 事業の実施状況

### (1) 公益目的事業

近年、環境に対する関心は非常に高く、旅行に対する考え方や価値観も大きく変化しているなか、公益財団法人名古屋市民休暇村管理公社（以下「公社」という。）は、地元王滝村や休暇村の恵まれた自然環境を活用した体験事業や環境学習を実施するなど地域に特化した観光の振興と環境保全に努めました。

#### ア 自然体験事業

休暇村敷地内のヒノキやカラマツなど50ヘクタールに及ぶ人工林の間伐、枝打ち、広葉樹の植樹などの森林整備を地域や下流域の市民と協働で進める「市民の森づくり事業」、国・長野県の補助事業を活用して設置した「王滝百草の森」の整備を地元王滝村の協力を得て進めるとともに、水源涵養や地球温暖化防止(CO<sub>2</sub>削減)、生物多様性など森林が果たす機能と重要性を学ぶ森林体験学習などサステナブルな活動を進めました。

「市民の森づくり事業」では、例年、名古屋葵ライオンズクラブ、名古屋市、王滝村及び公社の共催により、休暇村内において植樹祭を開催していましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症（以下、「新型コロナ」という。）の拡大防止の観点から、植樹祭を中止し、代替事業として、8月30日に名古屋の金山総合駅連絡橋イベント広場において「おんたけ休暇村『市民の森・葵の森』PRデー」を開催し、休暇村及び木曾地域の魅力についてPRしました。

また、地元王滝村等の協力を得て、遊休農地を利用した農業体験、木曾地方に伝わる食べ物を始め伝統文化等の体験事業を実施しました。

#### イ 青少年健全育成事業

小・中学生を始め青少年が自然の中での集団生活や自然体験活動を行うこと

により、自然環境に対する感動や創造性を育む「豊かな心」を醸成し、生命の大切さや人権の尊重など道徳性を身につけることを目的とした青少年の健全育成事業を、大学生のボランティア「キャンプカウンセラー」や特定非営利活動法人（NPO）とともに進めました。

#### ウ 健康増進支援事業

森林浴や高地ウォーキング、温泉療養、薬膳料理の提供など豊かな自然環境を活用したプログラムの提供により市民の健康増進を支援しました。

### (2) 収益事業

#### ア 施設貸与及び飲食販売事業

名古屋市から離れた休暇村において、様々な体験活動にじっくりと取り組んでいただくためには、宿泊が欠かせないため、宿泊に伴う施設貸与や飲食提供を行うとともに土産物等の販売を行いました。

#### イ 旅客自動車運送事業

自家用車を持たない人や高齢者にも、交通アクセスを気にせず体験活動にご参加いただけるよう、貸切バスによる名古屋・休暇村間の送迎を行いました。

### 3 利用状況

令和2年度は、長野県南部を震源とした地震の被災からセントラル・ロッジは約3年間の休館を経て再開館しましたが、環境保全活動や自然体験活動等に参加された方は、新型コロナの影響を受け、延べ9,686人で、令和元年度との比較では3,775人の減少でした。参加者の内訳は、植樹・下草刈りなどの森づくりや森林学習、植物・昆虫観察や登山、農業体験などの自然体験事業参加者236人、小中学生の野外活動など青少年健全育成事業参加者417人、ウォーキングや森林浴、温泉浴などの健康増進支援事業参加者494人、食の体験館や天文館等の利用者1,141人で、公社主催事業の延べ参加人員は2,288人でした。これら主催事業ほか、キャンプ技術や野外活動、登山、自然体験学習などの支援を受けられた方は7,398人でした。

なお、休暇村利用者のうち、セントラル・ロッジ及びキャンプ場宿泊者は7,460人で、このうちセントラル・ロッジ宿泊者は6,841人でした。一方、キャンプ場の宿泊者は619人で、新型コロナの感染拡大の観点から、こども村キャンプが1回のみの開催となったこともあり、前年度に比較し3,957人の減少となりました。また、旅行自動車運送事業による貸切バスの運送実績は、71回、1,128人で、旅行業の取扱実績は32回、414人でした。

### 4 事業参加者促進への取組

平成29年6月の地震被災からセントラル・ロッジは昨年6月8日に再開館し、利用促進に向けて次のとおり取り組みました。

## (1) 広報・PR

### ア 再開館記念式典

令和2年6月8日に約3年ぶりにセントラル・ロッジの営業を再開し、7月17日に再開館記念式典を実施しました。式典には名古屋市長のほか王滝村長はじめ木曾郡6町村長にご参加をいただきました。この様子は地元長野県や名古屋の新聞に記事が掲載されました。

### イ 各種イベントの中止

コロナ対応のため、例年実施していた東山公園春まつり、なごや水フェスタ、各区区民まつり等におけるPRが中止となり、休暇村のPRを十分に行うことができませんでした。また、景気経済の再興を目的としたGo Toトラベルキャンペーンが7月から始まりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、12月に中断となり、スキーシーズンに大きな影響がありました。

### ウ 休暇村の利用促進事業

地元木曾地域の埋もれている観光資源や文化・歴史的資産の掘り起こし、活用を図ることにより、効果的なPRを実施し、休暇村の認知度を向上させ、休暇村の利用を促進する事業を実施しています。具体的なPRとして、名古屋市営地下鉄東山線及び名城線の車両扉に休暇村のPRステッカーを掲出、名古屋駅前の大型ビジョンでの休暇村のPR動画の放映を行ったほか、新しい休暇村のPRパンフレットを作成いたしました。

### エ スポーツに特化した誘客

自転車やトレイルランニングなどのレースや高地トレーニングなどスポーツに特化した観光誘致・PRを木曾おんたけ観光局とともに関係団体に対して行いました。

## (2) 事業の充実等

ア 休暇村の利用促進と公社の財政基盤を強化するため、賛助課会制度の効果的な運用を図り、会員の募集に努めました。

イ 御嶽古道や瀬戸川国有林、御嶽の星空など地元で埋もれている観光資源や歴史的資産の掘り起こしと活用を図ることで、ここでしか体験することのできない「オンリーワンの楽しみ方」の企画事業を実施しました。

ウ リピーター客のさらなる増加に向けて、地元食材を用いた食事メニューを充実させました。

エ 地元の有識者や技術継承者、農林業経験者などの協力を得て、自然環境や文化・歴史等を対象にした体験企画を実施するなど、参加者の満足度を一層高めました。

オ 森林浴や温泉浴、高地効果や転地効果など休暇村の特異な立地条件を活用し

た滞在型の健康増進支援プランを提供しました。

カ 貸切バス経営のメリットを生かした名古屋・休暇村間送迎の体験企画メニューを実施しました。

## 5 利用の環境整備等

- (1) ゼミ合宿やスポーツ・サークル合宿、高地トレーニングなどの利用受け入れの環境整備として、ランドリー設備を充実させました。また、合宿料金の設定、合宿向け食事メニューやアスリート向け食事メニューの提供、自転車やトレイルランニングやクロスカントリーなどの練習コース整備、近郊のスポーツ公園や練習場所への送迎などに向けて検討しています。
- (2) 高齢者や障害者も安心して自然の中で憩いの時を過ごすことができるよう、遊歩道の整備を始め村内整備を進めました。
- (3) 森林浴や温泉浴による「憩いと癒し」や豊富な自然を利用して非日常を体験し、リフレッシュすることができる宿泊型体験施設として整備を進めました。
- (4) 外国人の利用を見据え、館内英語表記を進めました。

## 6 地域への貢献と連携

名古屋市から離れた地にある休暇村で様々な事業を展開するには、王滝村を始め地元の協力が不可欠であるため、地元で行われる各種行事や奉仕活動への積極的な参加、観光振興イベントへの協力を行うなど地域との信頼関係の構築に努めました。

- (1) 地域の自然景観、文化・歴史、産業・技術などの資源を活用し、観光による豊かな地域づくりと地域経済の活性化を目的に王滝村や木曽町、木曽おんたけ観光局等が進める「世界水準の滞在型観光地づくり」への協力
- (2) 王滝観光総合事務所やスキー場などが行う観光振興イベントへの連携
- (3) 地域の自然や歴史、文化、産業などの積極的な紹介と体験プログラム等の実施による相互交流
- (4) 地域の環境保全・整備事業及び奉仕活動の参加協力

## 7 環境保全への取組み

市民の貴重な財産である休暇村の広大な自然の保護等環境保全に努めました。

- (1) 長野県林業総合センターや森林管理署などによる技術指導や林業経験者の協力を得て、間伐・植樹・下草刈り・炭焼きなどを行う市民の森づくり事業を実施し、水源涵養や地球温暖化防止（CO2の削減）に努めました。
- (2) 長野県や王滝村、有識者の協力を得て、村内に生息するササユリやラン、クマタカや、昆虫類など希少な生物等の保全活動に取り組みました。
- (3) 信州省エネパトロール隊の提言に基づく、省エネ、温室効果ガスの削減など環

境改善に取り組みました。

- (4) 生態系に及ぼす影響が懸念されている海洋プラスチックゴミを解決する取組として、レジ袋などのプラスチック素材からの代替えを進めました。
- (5) 廃棄物の発生抑制とリサイクルを推進しました。

## 8 安全対策

### (1) 施設の保全

ア 建物・機械設備等は、保守点検及び法定点検のほか日常点検を欠かさずに行い、性能の維持管理に努めるとともに利用者の安全確保に努めました。

イ 道路、遊歩道、橋梁、駐車場のほか村内敷地の日常点検を行い、適正かつ安全な状態を維持しました。

### (2) 事故、災害対策

ア 防火対策委員会・自衛消防組織による火災等災害の予防、防災設備の改善計画策定及び防災意識の高揚と啓発活動を実施しました。

イ 危機管理マニュアルに基づき、事故や盗難、破壊等犯罪の発生の警戒、防止及び日常の保安警備を実施しました。

ウ ノロウィルスなどによる感染症や食中毒防止、レジオネラ属菌対策など衛生管理を徹底しました。

エ 新型コロナ対策として、職員は検温、消毒液による手指消毒、マスク着用を徹底したほか、お客様に対しても同様の協力を求めました。

オ 自動車事故防止のため、車両の日常点検の実施と運行管理者及び整備管理者による安全な運行管理を行いました。

カ 熊や猪などの有害獣による事故の未然防止策を講じました。

### (3) 個人情報の保護

公社が保有する情報に対して保護対策が十分か定期的に点検し、適切な保護対策を講じました。

ア 個人情報に対する取扱いや職員の責務についての意識向上を図りました。

イ 個人情報が記載されている文書は、盗難、災害等による情報の漏えい、滅失又は、き損を防止するため厳格な管理をしました。

ウ 電子情報に対しては、人的情報保護対策及び技術的情報保護対策を講じ、情報の漏えい、滅失又は、き損を防止するとともに、ネットワークや情報システム、コンピューターへの不正なソフトウェアの侵入、感染又は、不正なアクセス行為を防止するための措置を講じました。

## 9 職員の資質向上

- (1) 市民が自然の中で行う様々な体験活動や森林・温泉などの自然環境を活用した

健康増進の支援を行うため、事業に必要な各種資格等の取得に努めるとともに知識・技術の向上研修や業務研修を実施しました。

- (2) 市民生活を支える水源の木曾川上流域に位置する休暇村の自然環境を保護し、活用するため、森林整備や自然環境保全の知識や技術の取得向上研修を実施しました。
- (3) 職員一人ひとりが意欲を持って、ハラスメントがなく働きやすい職場環境づくりを目指して改善に取り組みました。

## 10 長野県南部で発生した地震及び御嶽山噴火による影響と今後の見通しと取組み

### (1) 長野県南部で発生した地震の影響と今後の見通し

平成 29 年 6 月 25 日に発生した木曾町を震源とする震度 5 強の地震の影響により、セントラル・ロッジは約 3 年間休館し、耐震補強工事等を経て令和 2 年 4 月 24 日に再開館する予定でしたが、新型コロナウイルスの拡大防止の観点から延期し、6 月 8 日にリニューアルオープンしました。7 月 17 日には名古屋市長、王滝村長はじめ木曾郡 6 町村長の参加を得て再開館記念式典を実施し、PR に努めました。

令和 2 年度はリピーターを呼び戻すほかに新たな利用者層の獲得に向けた取組を行うことにより、御嶽山噴火前の平成 25 年度利用実績 20,000 人(セントラル・ロッジ 15,000 人、キャンプ場 5,000 人)を目標に掲げて職員一丸となって取り組みましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う緊急事態宣言の発出等により目標に達することができませんでした。ウイズコロナの時代を迎え更なる感染症対策の徹底と、今後も安心安全の施設であることを PR し集客に努めてまいります。

### (2) 御嶽山噴火による影響と今後の見通しと取組み

平成 26 年 9 月 27 日に発生した御嶽山の噴火後、王滝口登山道は、御嶽山七合目の田の原天然公園から上部が入山規制されていましたが、登山道の整備や避難小屋の補強により、平成 28 年 9 月 24 日から一部時間帯のみ九合目まで入山可能となりました。平成 29 年 8 月 21 日には噴火警戒レベルが 1 (活火山であることに留意) に引き下げられ、王滝口登山道は「王滝頂上山荘」を避難所に改修し、令和 2 年 8 月に王滝頂上まで入山が可能になりました。令和 3 年度、王滝村では王滝頂上山荘跡地に木造避難小屋の建設、八丁ダルミへ鋼鉄製シェルターの移設、王滝頂上から剣ヶ峰への直登ルートの仮復旧が計画されており、今後安全対策を施した登山ができるよう期待しています。

観光が基幹産業である地元王滝村や木曾町では、登山客や観光客の減少が著しく、地域経済に大きな影響を及ぼしていますが、昨年 6 月にセントラル・ロッジがリニューアルオープンしたことから、地元自治体や観光連盟団体との連携や名古屋市の協力を得ながら、利用者の V 字回復に努めます。

## 11 評議員会の開催

令和2年度の評議員会は以下のとおりで、各議案とも原案どおり決議され、または承認されました。

- (1) 日 時 令和2年5月29日(書面による決議)
- 議 案 令和元年度事業報告及び決算の承認について
- 報 告 令和2年度事業計画及び収支予算について
- 〃 経営戦略と中期経営計画(平成28年度～令和2年度)の進捗状況について

## 12 理事会の開催

令和2年度の理事会は次のとおりで、各議案とも原案どおり決議され、または承認されました。

- (1) 日 時 令和2年5月15日(書面による決議)
- 議 案 令和元年事業報告及び決算の承認について
- 〃 令和元年度に関する定時評議員会の招集について
- 〃 公益財団法人名古屋市民休暇村管理公社事務局長の任命について
- 報 告 経営戦略と中期経営計画(平成28年度～令和2年度)の進捗状況について
- 〃 定款第28条第4項に定める理事の職務の執行状況について
- (2) 日 時 令和2年11月30日(書面による決議)
- 報 告 令和2年度前期事業報告及び決算報告について
- 〃 定款第28条第4項に定める理事の職務の執行状況について
- (3) 日 時 令和2年12月13日(書面による決議)
- 議 案 名古屋市民御岳休暇村指定管理者申請について
- (4) 日 時 令和3年3月25日
- 議 案 令和2年度補正収支予算について
- 〃 公益財団法人名古屋市民休暇村管理公社就職規則の一部改正について
- 〃 令和3年度事業計画及び収支予算について
- 報 告 経営戦略と中期経営計画(令和3年度～令和7年度)について

(資料)

## 令和 2 年度 公益目的事業 (実績)

### 1 主催事業

主催事業回数 32回、 延べ参加人員 2,288人

#### (1) 自然体験事業

実施回数 11回、延べ参加人員 236人

事業名	計画		実績		実施時期
	回数	人員	回数	人員	
間伐、植樹、下草刈りなど水源の森づくり	3	280	中	止	
森林体験学習 (親子体験含む)	5	150	中	止	
野生生物・昆虫等観察会・標本づくり	11	480	中	止	
自然体験登山・トレッキング (親子登山含む)	13	470	5	88	7,10~12,3月
星座教室、特別観望会	3	270	1	56	
農業、里山、山村体験	5	160	4	82	6,9月
森のコンサート	3	260	中	止	
スケッチ・写真撮影会	5	200	1	10	7月
合計	48	2,270	11	236	

#### (2) 青少年健全育成事業

実施回数 4回、延べ参加人員 417人

事業名	計画		実績		実施時期
	回数	人員	回数	人員	
おんたけこども村キャンプ	35	5,580	1	72	7月
おんたけこども村ネイチャーキャンプ	1	120	中	止	
おんたけこども村スターウォッチング	1	120	1	111	
おんたけこども村雪の学校	3	400	2	234	
合計	40	6,220	4	417	



### (3) 健康増進支援事業

実施回数 17回、延べ参加人員 494人

事業名	計画		実績		実施時期
	回数	人員	回数	人員	
健康増進ウォーキング・トレラン教室	24	1,500	12	361	6,7,9~11月
山菜・茸採り体験リフレッシュプラン	3	195	1	27	
山野草・薬草観察	5	250	2	52	9月
シニアスキー教室・健康スノーウォーク	16	675	2	54	
合計	48	2,620	17	494	

### (4) 体験館等の運営

参加人員 1,141人

事業名	計画	実績	実施時期
	人員	人員	
食の体験館	300	61	
木工・工芸体験館	80	28	
天文館	3,500	955	
クライミング体験	400	97	
間伐材を利用した木工体験出前講座	5,000	中止	
合計	9,280	1,141	

※ 事業の中止は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため

## 2 支援事業

支援事業件数 1,070件 人員 7,398人

事業名	計画		実績		実施時期
	回数	人員	回数	人員	
野外活動・キャンプ指導・青少年健全育成	200	5,000	103	1,579	6~9月,3月
環境保全・環境学習・体験学習	15	500	20	248	通年
登山・カヌー・自転車・ウォーキング ・ランニング等スポーツ支援	300	4,000	397	2,271	〃
自然観察(天文・地質・気象)・植物観察	30	600	281	1,664	〃
森林浴・健康ウォーク	100	700	257	1,381	〃
絵画・写真・地域文化	20	1,400	12	255	〃
合計	665	12,200	1,070	7,398	